

● 問い合わせ

人権・同和対策課 (☎85-7133)



## 心の中に潜む障壁

7月21日に行われた参議院議員通常選挙で、重い障害がある人が当選。現在、国会でのバリアフリーのあり方が論議されています。

障害がある人には、日々の生活の中で、さまざまなことが障壁となります。障壁とは、障害のある人が利用できない、利用しにくい建物や設備、社会制度などのことをいいます。しかし、障壁は、このような分かりやすいものだけではありません。障害のある人に対する偏見などの差別意識や無関心・無理解など、心の中に潜む障壁も大きな問題です。

国会での議論をきっかけに、移動や意志表示の方法など、当事者それぞれに合った配慮の必要性が改めて社会に示されました。今後、さまざまな障壁が解消され、すべての人が自由に社会参加できる環境整備が進む中で「心の障壁」を取り除くことができるのは、みなさん自身なのです。

みなさんは、障害のある人に対して、心のどこかで偏見を持っていませんか。また、障害のある人が困っている場面に出会ったとき、無関心になっていませんか。日々の生活の中で、もう一度考えてみてください。